

# 令和8年度 学校経営方針

北九州市立曾根小学校 校長 長畑 潤

**【本年度の重点目標】**  
 教育の不易と流行のバランスを取りながら、2学期制2年目の学校生活の確立を図る。挑戦し続ける個を伸ばし、学校行事で集団として成長を実感できる楽しい学校の創造 共感的に丁寧な指導のできる教職員（教職員全員でほめてのぼそ）・チーム曾根小の一員として「私にできることはありませんか？」のもう二声の精神を皆さんがもって学校運営に参画をしましょう！！「学び」の転換～子ども主体の学びを目指して～「探究的な学び」の中で育成する。4-3-2制9年間の活動プランの作成・5,6年生の一部教科担任制の推進・北九州市型外国語教育の実施・保幼小連携・接続の推進（架け橋プログラムの作成）・長期欠席・不登校対策の充実・全ての子どもを対象とした特別支援教育の充実・人材育成の充実

**【学校経営の基盤】**日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の精神及び学習指導要領の趣旨に基づいた教育を推進し、生きる力を育み心豊かな人間性の育成を目指す教育を展開する。学校教育は生涯学習の基礎作りであるという認識に立ち、体験的な学習や問題解決的な学習を重視しながら、一人一人に確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度が身に付くようにする。令和6年8月に策定された北九州市の教育振興基本計画である「北九州市子どもまんなか教育プランの内容の実現に向けた「スクールプラン」をふまえ、子ども、保護者、地域の願いに応える教育を推進する。

## 教育目標を具現化するための努力点・具体的方策

**【A】 学校教育目標「広い心と健やかな体、及び豊かな創造力を持ち、自律と公共の精神に支えられた人間性豊かな子どもの育成」**

**【D】 【目指す子ども像】 かわいい！そねっこ**  
 創造力豊かに 【考える子】  
 熱心に 【はたらく子】  
 強い意志をもつ 【がんばる子】  
 根気強く 【あきらめない子】

**【E】 【目指す学校像・教職員像】**  
 子どもの力が伸びる学校 信頼と責任と協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団

① 子どもが主役となる学校	○ 自分の仕事に情熱と使命感をもつ教師
② 子どもが価値を感じる学校	○ 子どもと共に感動し、共に汗を流し、きびきびと行動する教師
③ 確かな信頼で結ばれた学校	○ 子どもに「価値」を教える教師
④ 保護者や地域に開かれた学校	○ 子ども心に寄り添い、温かい言葉をかける教師
⑤ 教師集団が学び合う学校	○ 互いに研鑽し合い、専門職としての資質の向上を目指す教師

●「報告」・「連絡」・「相談」・「確認」・「記録」「一つ上の対応」の徹底 組織で対応する教職員  
**【学校中が笑顔（愉しさ）一杯の曾根小学校をつくろう!!!】 ①【**

**【F】 【具体的な子ども像】 ～凡事徹底～**

広い心	◎協力して仕事をする ○誰とでも仲良くする
健やかな体	◎運動に親しむ ○望ましい食生活を実行 ○健康や安全に気を付ける
豊かな創造力	◎意欲的に学ぶ ○家庭学習に取り組む ◎本に親しむ
自律と公共の精神	◎廊下を走らない ◎気持ちの良い挨拶をする ◎適切な言葉づかいをする ○黙って掃除をする ○時間を守る

考えて、行動する「かわいい！」そねっこ

**【G】 【学校教育目標達成の環境づくり】**

- ① 支持的風土に支えられた学級づくり（学級集団づくり）
- ② 地域に開かれた学校（学習参観、開放週間、国型コミュニティスクールによる支援から連携・協働へ）
- ③ 家庭との連携の充実（日々の電話連絡、家庭訪問、学級懇談会、教育相談、個人懇談会やPTA活動等への協力と参加）
- ④ 地域の教育資源や教育力の有効活用（生活科、社会科、総合）
- ⑤ 地域と連携した防災・減災教育の実施
- ⑥ 家庭や地域と連携した安全の確保（見守り隊、ブックヘルパー、登下校安全指導、totoruの活用）
- ⑦ 情報の発信（学校ホームページの更新 情報・写真の提供、学校だより、学年・学級だより 家庭訪問等）

**【H】 【教育活動の充実と規律ある学校生活づくり】**

- ① 子どもの心の居場所づくり（担任、学年主任、生徒指導主任、養護教諭、等による密接な連携と取組）
- ② 生徒指導体制の充実（共通理解と同一対応、早期発見と早期対応、危機管理意識（サシスセン）の高揚と問題事象への緊急対応）
- ③ 清掃指導や給食指導の充実（子どもと心の交流の場）放送の工夫
- ④ 小中一貫教育の充実（曾根中、曾根東小と9年間活動プラン）
- ⑤ 学習機会の拡充と学習内容の定着（意欲的に取り組む家庭学習の工夫、ドリルアプリを活用して補充・発展学習の工夫）、全国学調、CRT実施（5年生）
- ⑥ 時代の変化に対応する資質や能力の育成（1,2年生外国語体験活動、3,4年生外国語活動、5,6年生外国語科、情報処理、主体的・能動的学習の育成）

**【I】 【授業力向上と職員のチームワークづくり】**

- ① 全校体制で策定・実施・検証・改善のできるスクールプランの作成と推進
- ② 主題研究の推進（教科を絞らず、全員で取り組む）
- ③ 職員研修の充実（事務改善会議、体罰、飲酒運転、セクハラ等不祥事防止、業務改善研修、LGBT（Q）の研修、理科、体育科、図画工作科、外国語科の専科指導の活用）
- ④ ワークライフバランスを大切に職場（18時退勤を目標に）
- ⑤ 確かな成長を実感できる研修の充実（人材育成の研修）  
・学年会の設定 ・若年研修の充実（教職経験6年未満）
- ⑥ 実践のまとめをし、研究の成果と課題の確認  
（次にどう生かすかPDCAサイクルの徹底）

**【J】 <道徳教育>（「特別な教科道徳」の全面实施 9年目）**  
 ○思いやりの心を育む教育の充実（教科書・ノートの効果的な活用等）  
 ○自律性・自尊感情を育てる指導の充実（成果や頑張りをほめる）  
 <教科指導>  
 ○学年相応の基礎的・基本的な内容の習得と思考・判断・表現力  
 ○問題解決的な学習と生きる力の基盤となる「言語活動」の充実  
 <特別活動>  
 ○学級活動の充実（学級会を通しての自治的な実践と自己決定の重視）  
 ○子ども同士が触れ合う集会活動の充実  
 <外国語活動・外国語科> 1,2年生英語大好きタイム 1年生、年間8時間、2年生、年間12時間も含めた英語教育の充実、推進  
 ○コミュニケーション活動の楽しさ、専科と外国人ALTの効果的な活用  
 <総合的な学習の時間>OSDGsの視点を踏まえた曾根小学校のプランを模索し、探究的な学習に取り組む（各学年のカリキュラム見直し）  
 <健康・保健・安全教育>  
 ○発達段階に応じた系統的な健康・発育指導と日常の健康観察の徹底

**【K】 <食育>○給食指導、学級活動を中心に望ましい食習慣の形成  
 <生徒指導> 問題行動の早期発見と早期対応を基盤に（ピンチをしのいでチャンスに！組織で対応）（チームとしての学校）  
 ○関連機関との連携及び、いじめ防止対策・不登校対応  
 学校と保護者の「心がつながる」ヒント集の活用  
 <人権教育> 教育活動の基盤とし、全教育活動の中で  
 ○学校や地域の実態をふまえた人権意識の高揚を図る  
 ○人権感覚の育成に向けた指導内容の工夫（新版いのちの活用）  
 <特別支援教育>すまいる学級（16人）たんぽぽ学級（10人）を中心に据えて  
 ○特別支援学級と連携し、自立活動を参考に適切な指導・支援を  
 ○異学年通級教室（8人）、教育相談（16件）通級相談（8件）就学相談（11件）の充実（管理職、特別支援コーディネーター、生徒指導主任、学年主任、担任等）  
 ○校内支援体制と情報の共有化  
 <防災・減災教育>（避難訓練の確実な実施）  
 ○様々な自然災害、不審者侵入を想定し、災害や事件発生時の適切な行動がとれる児童の育成**

**【L】 <キャリア教育>「夢事業の活用・発展」総合での位置づけ  
 ○体験を通して、勤労観や職業観を育てる指導の工夫  
 <学校図書館教育>学校図書館職員の活用（図書館の充実）  
 ○読書・学習・情報センターとしての環境整備、蔵書購入と点検  
 <環境教育>  
 ○身近な環境問題に着目し豊かな感受性を育てる  
 <SDGsの視点を踏まえてシビックプライドの醸成>  
 <情報教育>GIGAスクール構想の推進  
 （タブレット端末を活用しながらプログラミング教育の構築）  
 ○情報活用能力の育成 ○情報モラルの指導の徹底  
 ○ICT機器を活用した指導の工夫（ドリルアプリの活用）  
 <国際理解教育>  
 ○異文化・自文化の理解と尊重を目的とした体験的な活動の充実  
 ○各教科、総合、外国語科等と関連性（外国人ALTの活用月火水）**